

「神の国に入るために」 —先週の講壇より—

「弟子たちの心を強め、信仰にしっかりとどまるように勧めて、『私たちは、神の国に入るために、多くの苦しみを経なければならぬ』と語った。」使徒 14:22 【新改訳 2017】

先週は女子サッカーワールドカップの話題をとりあげましたが、今年の夏はハンガリー・ブダペストで世界陸上も開催されるのだそうです。そこで日系ラジオのゲストとして、1984年ロサンゼルスオリンピック女子マラソン日本代表の増田明美さんが出演しておられました。

増田さんが代表として選ばれたその当時、ロサンゼルスでのマラソンは猛暑が予想されていたそうです。ですから増田さんや宗兄弟など、当時のマラソンランナーは暑さ対策として、なるべく暑い場所を選んで練習を重ねたのだそうです。それによって暑さに慣れ、本番に対応できるように、ということでした。ところが増田さんはロスのスタート地点に立った時、「疲れた、走りたくない…」と思ったそうです。そう、本番に至る前に疲れ切って、走り抜く体力がもう無かったのです。そして彼女は残念ながら途中棄権をしてしまいました。それらの経験から、今のマラソンランナーはなるべく涼しい環境で練習しつつ、暑さにも慣れていくという工夫をしている、とのことでした。

人生はマラソンに例えられることが多々あります。人生という42.195キロのマラソンは、過酷で、猛暑もあり、つらい登り坂もあり、倒れてしまうことだってあります。でもその苦しみは、決して無駄にはなりません。その苦しみは、神の国に入るためのものなのだと、聖書はそのように語っています。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2023年8月6日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「私はこの岩の上に私の教会を建てよう。陰府の門もこれに打ち勝つことはない。私はあなたに天の国の鍵を授ける。」

マタイ 16:18, 19

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:20

礼拝は短縮して持たれています。

礼拝後のバイブルスタディ、平日のクラスなどは、現在休止しています。

